

(端裏書)

「寛政四年九月」

寛

一 銀貳貫四拾三匁也

右^者当七月入津仕御蔵入之節入不足^ニ

相成候御米六拾俵代銀也、右当御役所^江

御上納可仕候所銀子調達難相成候^ニ付御国

御上納御願申上候所御聞濟被成下難有奉存候

然ル上^者御国船主大谷九右衛門方へ急度申

遣し置候間右九右衛門御召被下候ハ、早速御上納

奉申上候、右御願書仍^而如件

大谷九右衛門船

寛政四

沖船頭久左衛門(印)

子ノ九月

船宿

橘屋平治郎(印)

御役所